



各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 上田谷 真一
(東証第一部 コード番号 3608)
問合せ先 管理本部 広報室長 山田 耕平
T E L 03(6748)0002

**株式会社アッカ・インターナショナル、株式会社プロロジス及び
株式会社エムジェイファンクションとのロボット物流業務の提携に関するお知らせ**

当社の子会社である株式会社TSI・プロダクション・ネットワーク（以下「TSIPN」）は、株式会社アッカ・インターナショナル（以下「アッカ」）、株式会社プロロジス（以下「プロロジス」）及び株式会社エムジェイファンクション（以下「エムジェイファンクション」）とロボット物流業務の提携に関する取り組みを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 業務提携の理由

当社は中期経営計画において収益基盤の強化を掲げ、既存の業務フローや内容を抜本的に見直すことにより収益性の改善につなげるビジネス・プロセス・リエンジニアリング(BPR)に本格的に取り組んでいます。物流業界においては、国内における貨物量の増加や人手不足等により、インフラを抜本的に改革する必要性が高いこともあり、当社グループの生産・物流業務機能を管理するTSIPNがBPRの一環として物流業務のロボット化による業務の安定化と省人化に着手することとしました。

アッカはアパレルECに必要な業務全般のサービスを提供していますが、昨年からプロロジスが保有する千葉ニュータウンの物流施設（プロロジスパーク千葉ニュータウン）でピッキングロボットGeek+（ギークプラス）を国内で初めて導入し、ロボット物流のノウハウを持つ優れた企業です。同施設に当社グループの「ローズバッド」の商品を移管し、ECの商品だけでなく、リアル店舗の商品についてもアッカの持つロボット物流のノウハウを活用していきます。また、リアル店舗向け商品の業務管理システムや、ロボット運用連携において重要なシステムについては、当社グループの物流業務を熟知している取引先の一つであるエムジェイファンクションのノウハウを活用することにより構築していきます。

当社グループはプロロジスの保有する成田の施設も使用しており、そのロボット化についても今回と同様にプロロジスを物流戦略のプロジェクトパートナーとして予定しています。また、RFID等の先進技術も活用することにより、新しい物流ロボティクスの構築を目指していきます。

2. 今後のスケジュール

平成30年12月3日 「ローズバッド」の19年春物商材のロボット物流の運用開始
平成31年春 「ローズバッド」の本格運用開始

以 上